第１４回

三でつながる発表会

開催報告（かいさいほうこく）

- 平成 31 年 2 月 2 日（土）
- 清瀬市 生涯学習センター

新河岸川流域川づくり連絡会

開 催 概 要

■趣旨

新河岸川流域では､総合治水対策や水循環再生の一環として行っている流出抑制施策や自然環境の保全などの取り組みやいい川づくりに向けた取り組みに関して、行政や市民団体、流域住民が情報・意見交換をする場として、「新河岸川流域川づくり連絡会」を開催しています。

川でつながる発表会では、「新河岸川流域川づくり連絡会」の活動の一環として、流域内の学生や市民団体が行った、治水や水環境を対象にした水にまつわる様々な学習・研究、ボランティアなどの活動の成果を発表していただいています。この取り組みは、学生が感じたり、考えたりしたことを知り、様々な世代が交流や意見交換を行うことで、河川に関する取り組みに対して一人ひとりができることを考えるきっかけをつくり､総合治水や水循環再生の取り組みをより一層普及させていくことを目的として行っています。

■開催日：平成３１年２月２日（土）９：００～１６：００

■開催場所：発表会会場・交流会会場　清瀬市生涯学習センター

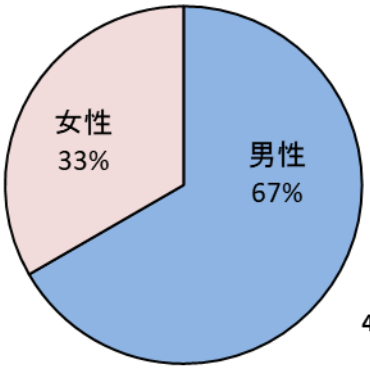
■主催： 新河岸川流域川づくり連絡会

■参加人数：約 80 人

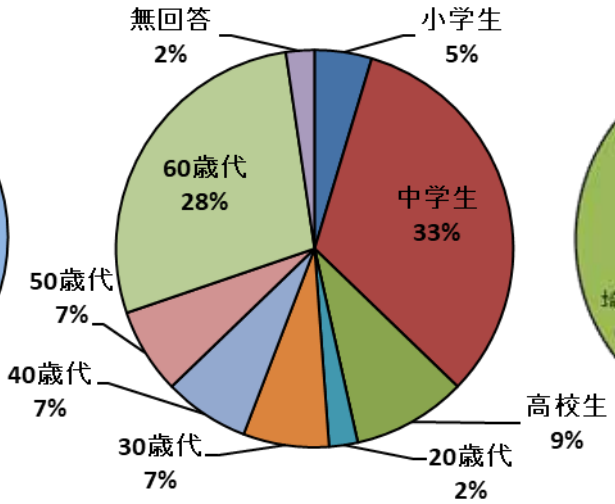
■参加者構成比：

43 人（アンケート回答者）

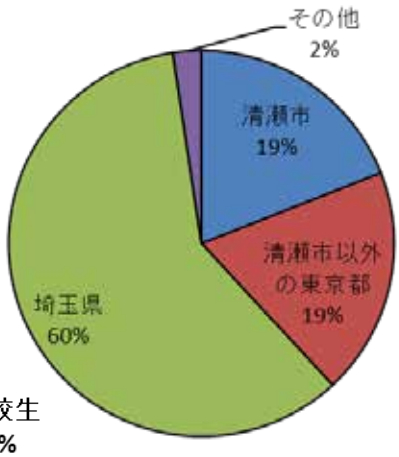
性別



年齢



住所



■当日プログラム

時間	内容		当日の様子
9：00	開会あいさつ		午前の部（現地見学会）の開会に先立ち、荒川下流河川事務所調査課長より、「本日は川について一人ひとりが考えるきっかけになれば良いと考えております。よろしくお願いいたします。」という挨拶がありました。
9：10	現地見学会		今年の現地見学会は、金山調節池、清瀬金山緑地公園、清瀬水再生センターの３つを対象に行い、東京都、清瀬市、清瀬水再生センター職員から説明を聞きました。また、道中では柳瀬川付近を歩き、川づくり・清瀬の会より、日頃の活動について説明を受けました。
13：00	あいさつ		午後の部（発表会・交流会）の開会に先立ち、荒川下流河川事務所長より、「今日は、日頃から色んな視点で見ていたことを発表していただき、より良い川づくりつなげていきましょう。」という挨拶がありました。
	発表会	発表（前半） コメント 質問	発表会の前半は、清瀬市立清明小学校、自由学園男子部高等科、清瀬市立清瀬第四中学校より発表がありました。主に、環境学習の取り組み、生物の生態、学校付近の川の水質などについて発表がありました。
13：55	発表会	発表（後半） コメント 質問	発表会の後半は、所沢市立上山口中学校、法政大学水文地理学研究室より発表がありました。主に、新河岸川流域を対象とした水質調査に関する結果報告や今後の課題などについて発表がありました。
14：30	交流会	クイズラリー・パネルセッション	来場者に新河岸川流域における水循環や総合治水に興味を持っていただくため、学校、市民団体、行政などが作成した力作のパネルの展示がありました。さらに、水循環や総合治水について理解を深めていただける様々な企画も行われました。
15：20		クイズ答え合わせ/表彰状授与/総括	荒川下流河川事務所長より、各発表校の代表者へ表彰状が授与されました。表彰状を受け取った後は、みなさんとても嬉しそうでした。最後に新河岸川水系水環境連絡会より、「学生の皆さん、素晴らしい発表でした。」という挨拶がありました。
16：00	閉会		
	記念撮影		毎年恒例の記念撮影は、学校や世代を越えてつながる一体感を感じさせる一コマでした。発表会にご参加・ご協力いただいたみなさま、どうもありがとうございました。

記　念　写　真

発表校紹介

■清瀬市立　清明小学校■

川と私たち

清瀬市立清明小学校からは、学校で行っている環境学習について報告がありました。具体的には以下の説明がありました。

『私たちと川がつながるキーワードは、①身近にある柳瀬川、②清明小とビオトープ、③清瀬水再生センターの 3 つです。1 つ目は清明小から歩いて１０分のところに柳瀬川というきれいな川があることです。今はきれいですが、昔はごみが流れ、ひどいにおいがしていました。１９８１年に清瀬水再生センターができ、川がきれいになりました。2 つ目は、ビオトープが清明小の先輩たちが設計に関わっており、今も環境学習の場として活用していることです。3 つ目の清瀬水再生センターは、私たちが使った水をきれいにして柳瀬川に放流してくれます。ビオトープと水再生センターの見学を通して、いろいろな人が川を守るために活動していることが分かりました。今私たちに出来ることは、川を大切にする気持ちを持つこと、ゴミを捨てない・持ち込まないことです。川の環境を守るために、みんなで頑張りましょう。』

■自由学園　男子部　高等科■

校内を流れる立野川－生きもの調査の結果から－

自由学園男子部高等科からは、校内を流れる立野川の水質と生態系についての調査結果について報告がありました。具体的には以下の説明がありました。

『私たち川管理グループは校内を流れる立野川の水温・流量の測定、草刈りやゴミ掃除、生きもの調査、校内の池の管理、特定外来生物の駆除を行っています。今年は 7 月 8 日に川管理グループの OB や市民団体の方と協力して「立野川総合調査」を行いました。水質は問題なく、植生調査においては、草刈りのおかげで日射がよく入るようになり、植物の多様性が向上していることが分かりました。また、水生生物調査では、100m の流路の中にも生息環境の異なる箇所があるため、多くの生物が生息していることが分かりました。8 月末に、近くを流れる落合川で、ドンコが見つかり、立野川における調査の依頼がありました。ドンコは見つからなかったのですが、ペットショップで売られている南米アマゾン原産のプレコが見つかりました。このプレコは学校の水槽で育てており、4 月の東久留米市の環境フェスティバルに展示する予定です。外来生物を川に捨てず、最後まで育てる責任をもってほしいです。今後は OB として、先輩から託されたこの川を守っていきたいと思います。』

■清瀬市立　清瀬第四中学校■

空堀川の水質調査

清瀬市立清瀬第四中学校からは、空堀川の水質調査・生物について報告がありました。具体的には以下の説明がありました。

『川づくり・清瀬の会と一緒に 6 月 3 日の全国一斉調査に参加しました。私たちが行った調査は COD・pH 調査です。COD を見ると、農業用水にも使える水準であり、コイ・フナが生息でき、昔の空堀川より改善していると言えます。pH を見ると、上流と下流は良い状態ですが、中流はアルカリ性が強い状態でした。以上から、排水が流れていた時代に比べ、水質が向上していることが分かり、川清掃やボランティア活動で川がきれいになっていると思われます。これからは次世代にこの活動を伝えて、積極的に市民団体に参加し活動することが、流域全体をきれいにすることにつながるのではないかと思います。また、空堀川にいる生物について整理してみました。空堀川にはモツゴ、ザリガニ、ギンブナ、ドジョウ、ヌマエビなどが生息しており、水のきれいな川にしかいない絶滅危惧種のギバチもいました。その他、清瀬第四中学校の周りには雑木林には多くの昆虫が生息しています。中には、国蝶のオオムラサキもおり、貴重な生物がいることが分かりました。清瀬市には、珍しい生物が多くいるという新たな発見が得られ、整理をして良かったと思いました。』

コメンテーターによるコメント

① 清瀬市立清明小学校に対するコメント

川づくり・清瀬の会より

・柳瀬川は東京都でも代表されるきれいな川になりました。そんな川で遊んだことがあるのは良い事です。

・ビオトープを四季ごとに説明してくれたのが分かりやすかった。冬の観察も頑張って下さい。

・今後、川を守るために何をしたら良いか改めて考えさせられた発表でした。

② 自由学園男子部高等科に対するコメント

東京都河川部計画課より

・校内に川が流れている恵まれた環境を活用して、良い活動をしていると思います。

・いつかこの調査結果が必要な時がくると思うので、大事に保管してください。

・後輩にしっかりとこの活動を引き継いでください。

③ 清瀬市立清瀬第四中学校に対するコメント

清瀬市水と緑の環境課より

・空堀川は水量が少ない川ですが、これだけの生物が生息していることが分かって良かった。

・引き続き、より多くの方にボランティア活動に参加していただき、一緒にこの豊かな自然を守っていきましょう。

■所沢市立上山口中学校■

柳瀬川の水質と環境 Ver．2

所沢市立上山口中学校からは、柳瀬川の水質と環境に関する調査結果について報告がありました。具体的には以下の説明がありました。

『私たちは、生活排水と柳瀬川の水質の関係を知るために、柳瀬川の上流から下流まで色々な地点の COD を調べました。COD を見ると、下流に行くほど水がきれいになっていました。また、一部の区間で数値が大きかったことから、生活排水が流れている箇所があるのではないかと考えられます。その区間では工事が行われているので、その影響だと思います。各調査地点の 7 年前と現在を比較してみました。昔に比べて人の手が入り、ゴミなどが少なくなっていることや、生活排水が流入する箇所に変化があったことが分かりました。これからの課題は、いつ川が汚くなったかを調べるため、継続的に COD を測定すること、柳瀬川の最上流をきれいにする会と共に川清掃を活発に行っていくことです。私たちにいますぐ出来ることとしては、生活排水について、食品・油をそのまま流さないことや洗剤を無駄使いしないことが大切だと思いました。』

■法政大学　水文地理学研究室■

身近な水環境一斉調査の水質分析結果から見た新河岸川流域の地域特性(7)

法政大学水文地理学研究室からは、新河岸川の水環境や 2018 年の調査結果と午前の見学地点の水質について報告がありました。具体的には以下の説明がありました。

『新河岸川流域では連絡会に属する団体により行われてきた「全国身近な水環境一斉調査」にあわせて現地調査を行い、新河岸川流域の水環境と地域特性の把握を目指しています。当研究室では、2018 年 6 月 3 日に行われた調査で採水した水のサンプルを提供して頂き、180 地点のサンプルについて分析しました。測定項目は pH（水素イオン濃度）、EC（電気伝導度）、TOC（全有機炭素）、主要溶存成分で、項目毎に分布図を作成しました。pH の値は昨年度同様、7.0～7.4 の地点が多い傾向です。TOC は不老川・空堀川で濃度が高い傾向です。EC は空堀川と黒目川で高い値が目立ちます。また、午前の見学会地点の調査結果も共有します。下流に行くほど、湧水の影響で水温が高くなっており、SiO_2(二酸化ケイ素)も多く含んでいました。空堀川に比べて柳瀬川では COD が低くなっていました。これまでの調査結果の分析をとおして、地域特性・経年変化がある程度明確になってきました。』

コメンテーターによるコメント

④所沢市立上山口中学校に対するコメント

東大和市環境課より

・COD の解説、柳瀬川の上流から下流までの水質調査、昨年の調査結果との比較など、非常によく考えられている発表だと思いました。ぜひ今後も続けてください。

・今後は、下流に行くほど川がきれいになる理由をぜひ明らかにしてほしい。

⑤法政大学水文地理学研究室に対するコメント

NPO 法人エコシティ志木より

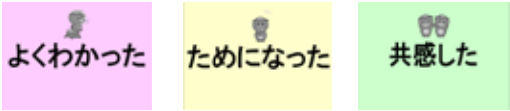
・私たち新河岸川水系の市民団体でも同様の分析ができれば良いのですが、毎年法政大学に分析していただいていることに感謝いたします。

・見学会地点の水質調査の結果について、湧水が入って来るところから水温が変わる所が大変興味深かったです。

感想カード

各団体の発表の後、参加者のみなさんには、事務局が準備した感想カードから発表への感想に最も近いものを選んでいただき、発表者に向けて掲げていただきました。

＜事務局が準備した感想カード＞



清瀬市立清明小学校	＜多かった感想＞ 	自由学園男子部高等科	＜多かった感想＞
清瀬市立清瀬第四中学校	＜多かった感想＞ 	所沢市立上山口中学校	＜多かった感想＞
法政大学水文地理学研究室	＜多かった感想＞ 		

○現地見学会

柳瀬川流域における治水施設や歴史など紹介！

金山調節池

清瀬金山緑地公園

柳瀬川川歩き

清瀬水再生センター

現地見学会では清瀬市生涯学習センターを出発して、金山調節池、清瀬金山緑地公園、清瀬水再生センターの 3 箇所を巡りました。また、川づくり・清瀬の会の方のガイドのもと、柳瀬川川歩きを行いました。

金山調節池では、東京都職員から、柳瀬川の河川事業内容、調節池の機能、ビオトープ整備の取り組みの説明を受けました。また、清瀬金山緑地公園では、清瀬市職員から公園の概要の説明を受け、公園内を散策しました。

柳瀬川川歩きでは、清瀬金山緑地公園から台田運動公園までの約 1km を実際に歩き、柳瀬川の水質や水量の状況や湧水の場所を確認しました。台田運動公園周辺では、毎年夏に、柳瀬川で実施している「川まつり」について、川づくり・清瀬の会から説明がありました。

清瀬水再生センターでは、センター長より流域下水道の仕組み、清瀬水再生センターの機能、下水処理の方法、処理能力などについて説明がありました。

○交流会
（パネル展示・クイズラリー・正しい水質調査の方法・紙芝居）

水や川・環境に関わる各団体の活動を展示！交流ブースも充実！

パネル展示

浸水深確認ブース

正しい水質調査の方法

紙芝居

パネル展示では、参加者に新河岸川流域における水循環や総合治水に興味を持っていただくため、流域内の学校、市民団体、行政、事務局がそれぞれの取り組みをまとめた力作ぞろいのパネルなどが展示されました。発表会の内容と展示されているパネルの内容から作成されたクイズラリー用紙を片手に、みなさん熱心にパネルを見ていました。

今年の交流ブースでは、法政大学の水文地理学研究室の学生が参加者に採水方法や水質分析の方法を教える「正しい水質調査の方法」に加えて、地域の浸水深をパソコンで確認できる「浸水深確認ブース」や地下調節池の VR が見られる「VR 体験ブース」、水害から命を守る方法を伝える「紙芝居」など様々な企画が行われ、子どもからご高齢の方まで世代を超えて、多くの参加者の方々が、交流を楽しまれていました。

○交流会（クイズ答え合わせ・表彰状授与・総括）

発表とパネルに関わるクイズ！発表者の活動を讃えた表彰式！

●クイズ答え合わせ

　クイズの問題を作成していただいた参加校の方から、クイズの答えの発表と解説をしていただきました。問題は発表内容と交流会会場に展示されたパネルから出題されており、今年は難問でしたが、みなさんほとんどの問題に正解していました。

●表彰状授与

　クイズの答え合わせの後には、表彰状授与式が行われました。荒川下流河川事務所長より、『本日の発表会、特に印象に残ったのはプレコの事で、新河岸川流域でも見つかるかとは思わず、これも毎年河川の調査を皆さんが行っている大きな成果かと思います。外来種に環境を乱されることを未然に防げたのではないかと思っています。また、印象に残ったのは、各校の発表の最後には、自分自身が何をしていくべきかというコメントが多くあったことです。本発表会の一つの目標としては、自分たちが何をしていくのか、過去の人たちが自分たちにしてくれていたことに気づき、それを将来の人たちにつなげていくことです。本日は発表ありがとうございました。そして、各校の発表については、先生・保護者・ボランティアの方々のサポートがあってのものだと思います。みなさまのおかげで素晴らしい発表会となりました。本日はありがとうございました。』と挨拶があり、各発表校の代表者に対して、表彰状の授与が行われました。

●総括

　発表会の最後に、新河岸川水系水環境連絡会より、『午前中は柳瀬川を見学した後に、清瀬水再生センターに行きお話を聞きました。午後の発表では、清明小学校から清瀬水再生センターと柳瀬川のつながりについて発表があり、自分たちにできることについて話されていた所が良かった。自由学園からは水質調査のデータを積み重ねていくという素晴らしい発表がありました。清瀬第四中学校からは川に関する活動を次世代につなげていきたいと話されていたのを聞いて、この発表会もまだまだつながっていくのではと、嬉しく思います。上山口中学校から 7 年前と昨年の調査と比較の発表がありました。7 年前の資料は学校で探して見つけたものだと聞きました。自治体でも環境基本計画を作っていて、川に関する取り組みが含まれているのも見ると、この川に関する取り組みが世代や地域を超えて色々な所でつながっていっているのではと思いました。そして、法政大学からはイオン分析についての発表がありましたが、全国一斉調査の結果に対してイオン分析をしているのは、全国でもこの流域だけだと思います。本日は小学校から大学まで様々な世代から発表があり、色々な方が本発表会でつながっていただけたのかと思います。本日はありがとうございました。』という総括をいただきました。

パネル展示の様子

◆展示団体◆

○法政大学
○川づくり・清瀬の会
○NPO法人 エコシティ志木
○新河岸川水系水環境連絡会
○和光自然環境を守る会
○東京都 河川部 計画課
○清瀬市 水と緑の環境課
○東大和市 環境課
○荒川下流河川事務所

（順不同）

法政大学

川づくり・清瀬の会

ＮＰＯ法人 エコシティ志木

新河岸川水系水環境連絡会

和光自然環境を守る会

東京都 河川部 計画課

清瀬市 水と緑の環境課

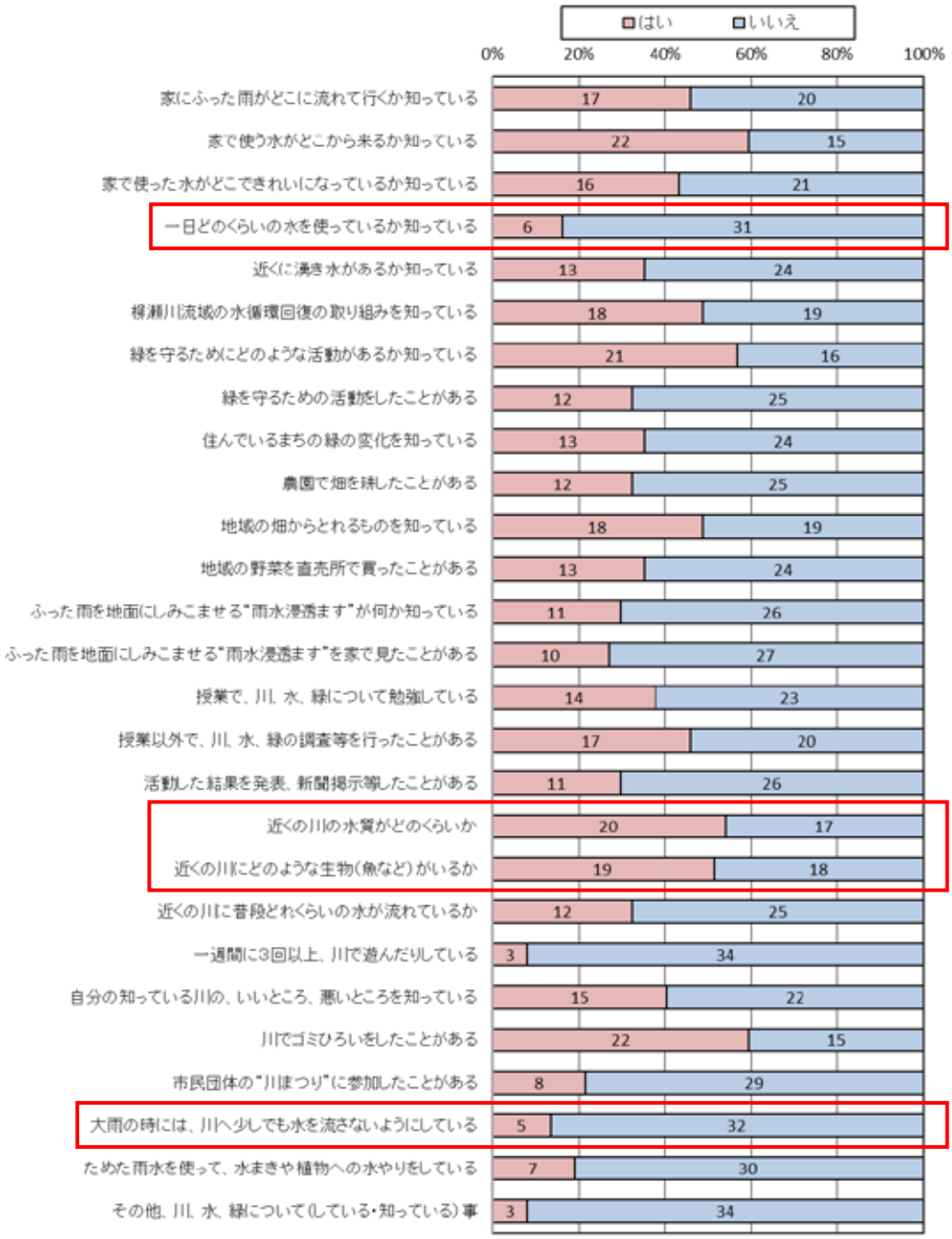
東大和市 環境課

荒川下流河川事務所

新河岸流域川づくり連絡会

新河岸川流域水循環再生検定試験（アンケート結果）

参加者の方々が、「水循環再生についてどのくらい知っているか？」、「水循環に関する活動をどのくらいしているか？」について回答いただいた「新河岸川流域水循環再生検定試験」は以下のような結果となりました。

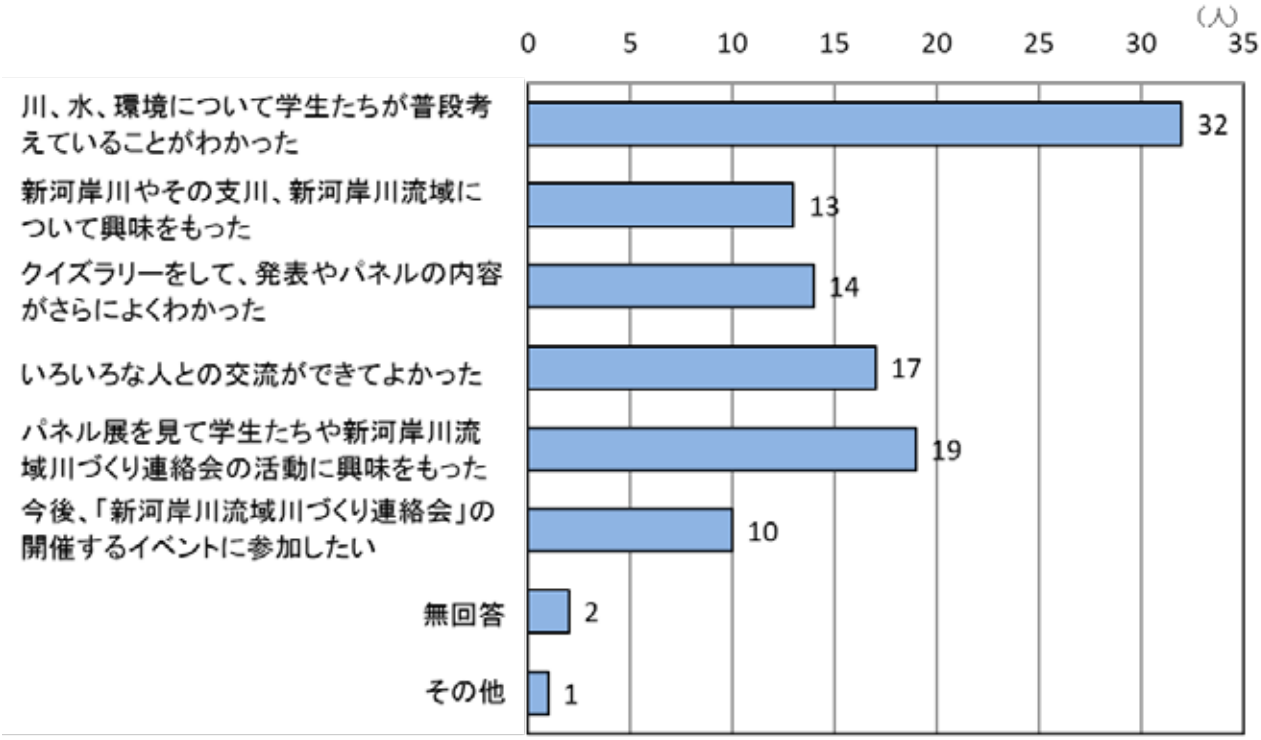


① 37 名の中で 20 名の人が「近くの川の水質がどのくらいか」を知っていました。また、19 名の人が「近くの川にどのような生物（魚など）がいるか」を知っており、半数以上の方が自分の近くにある川の様子について認知されていることが分かりました。

② 水・川・緑に関する活動について知っている人は多いですが、「1 日どのくらいの水を使っているか」、「大雨の時には、川へ少しでも水を流さないようにしている」などといった、自分の水利用について意識している人は少ない事が分かりました。

発表会を終えて（アンケート結果）

発表会についてどのような感想をおもちになりましたか？



◆参加者の声◆

○大学生などの発表を聞けるなんて普通では出来ないので良かった。

○活動をされている方々の発表の場があることはとても良いと思いました。今後も続けてほしいです。

○近くの川でも少しずつ違って、その個性を共有できるとても良い場所と思いました。

○パネルの出展が多くなるとうれしい。

○交流することで、発表内容が深まっている。

○この日の為に学生さんが一生懸命取り組まれていたことが感じられました。

みなさん、本当にありがとうございました。発表会を通じて、新しく知ったことや新たなつながりを流域全体へとつなげていきましょう。

第14回

川でつながる発表会

参加無料

学生による発表のようす

交流会のようす

新河岸川流域内の小学生～大学生等が、川に関する日頃の活動成果を発表し、川を通じてさまざまな世代が交流する場として、発表会を開催いたします。

■プログラム（予定が変更となる場合があります。）

8：30	受付
9：00	開会
9：10～12：00	現地見学会（事前申込制）
12：00～13：00	昼休憩
13：00～14：45	発表会／小学生～大学生による川に関する発表
14：45～16：00	交流会／学校、市民団体、行政によるパネル展示、クイズラリーなど
16：00	閉会

■午前の現地見学会に参加希望の方は裏面をご覧ください！

■参加予定校（変更となる場合があります。）

清瀬市立清明小学校／清瀬市立第四中学校／所沢市立上山口中学校
自由学園男子部高等科／法政大学水文地理学研究室

（参考）これまでの新河岸川流域を対象とした発表テーマ

水質調査／水生生物の調査／外来生物と在来生物の分布調査／河川における環境学習報告／水の流れ（山→川→海へ）

※交通費は各自負担となります。
※午後の発表会・交流会に参加される方は申込の必要はありません。
※中止の場合は、当日の朝7時まで荒川下流河川事務所Twitterでお知らせします。

平成31年2月2日（土）
9：00～16：00（受付8：30開始）

清瀬市　生涯学習センター

〒204-0021 清瀬市元町１丁目２番地の11

★会場へお越しの際は公共交通機関をご利用ください。

お問合せ

新河岸川流域川づくり連絡会事務局

2月2日当日のお問合せは、070-2807-0483にお電話ください。

■国土交通省 荒川下流河川事務所 調査課
TEL：03-3902-3220　FAX：03-3902-2346

■日本工営株式会社　防災マネジメント部　今野
TEL：03-3238-8257　FAX：03-3262-4451

川でつながる発表会主催団体

●新河岸川流域川づくり連絡会

国土交通省荒川下流河川事務所/不老川流域川づくり市民の会/砂川堀流域川づくり懇談会/柳瀬川流域ネットワーク/川づくり・清瀬の会/黒目川流域川づくり懇談会/白子川と流域の水環境を良くする会/あいがも会/東川を愛する会/エコシテイ志木/空堀川を考える会/かわごえ環境ネット/北川カッパの会/白子川源流・水辺の会/所沢源流の会/東久留米・ホタルを呼び戻す会/東久留米ほとけどじょうを守る会/和光自然環境を守る会/ＮＰＯ法人空堀川に清流を取り戻す会
国土交通省関東地方整備局/埼玉県/東京都/さいたま市/川越市/所沢市/狭山市/入間市/朝霞市/志木市/和光市/新座市/富士見市/ふじみ野市/三芳町/北区/板橋区/練馬区/立川市/小平市/東村山市/東大和市/清瀬市/東久留米市/武蔵村山市/西東京市/瑞穂町

第14回 川でつながる発表会

平成31年2月2日（土）

現地見学会コース

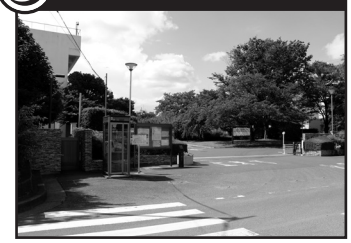
※現地見学会のコースは変更する場合があります。

柳瀬川流域の水循環・治水をテーマに柳瀬川回廊の水と緑や治水対策等が分かる場所を見学します。

① 金山調節池

② 清瀬金山緑地公園

③ 清瀬水再生センター



・申込方法；氏名・職業／学校名・住所・電話番号をご記入のうえ、下記E-mailにご送信下さい。また、本参加申込FAX用紙でも受け付けています。

・申込締切；平成31年１月25日（金）（必着）（40名程度/先着順）

■　午前の現地見学会　参加申込FAX用紙　■

氏　名

職業/学校名

連絡先

住　　所　　〒

電話番号

※ご提供いただきました個人情報につきましては、「参加者の受付」、「イベントに関する参加者への連絡」のために使用させていただきます。この個人情報は「行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「個人情報の保護に関する法律」に基づき適正に取り扱います。

【申込先】　新河岸川流域川づくり連絡会事務局
日本工営株式会社　防災マネジメント部　今野
E-Mail:sogo-bosai@dx.n-koei.co.jp　　FAX：03-3262-4451